

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	道路事業 (直轄・改築等)			担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始年度	昭和27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	国道・技術課 等		課長 前佛 和秀 等		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	道路法第12条、道路法第50条 等			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	・道路の交通安全の確保とその円滑化、生活環境の改善を図り、もって、国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・直轄国道(一般国道のうち、政令で指定する区間)等の新設・改築等を実施 ・主な事業として、高規格幹線道路、地域高規格道路、バイパス等の整備等を実施することで、国民の命と暮らしを守る代替性の確保や地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保、また、我が国の成長力を確保する物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備を実施 ・活動実績として、令和元年度の新規開通延長は76kmとなっており、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	785,309	758,605	770,246	744,587			
		補正予算	81,122	21,375	105,200	-			
		前年度から繰越し	386,297	356,601	267,048	395,273			
		翌年度へ繰越し	▲ 356,601	▲ 267,048	▲ 395,273	-			
		予備費等	▲ 245	-	-	-			
		計	895,882	869,533	747,221	1,139,860	0		
	執行額		894,524	868,432	746,612				
	執行率 (%)		100%	100%	100%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		103%	111%	85%				
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	道路環境改善事業費	62,759							
	道路交通安全対策事業費	37,819							
	地域連携道路事業費	439,568							
	道路交通円滑化事業費	204,441							
	その他	0	0						
	計	744,587	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	令和2年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保率 (令和元年度の成果実績については集計中)	成果実績	%	54	-		-	-
			目標値	%	-	-		-	55
			達成度	%	98	-		-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ(令和2年4月)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
				新規開通延長	活動実績	km	121	143
		当初見込み	km	153	145	82	107	39

政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
		施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する						
	測定指標		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したものの)60km/hが確保されている割合) (令和元年度の実績については集計中)	実績値	%	54	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	55	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与する重要な事業であり国が実施することが必要。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与する重要な事業。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等により選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	競争性のない随意契約となった案件は、工事の委託や土地代金、借地料等であり、その契約の相手方は1者に限定されるものである。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	負担関係は法令に基づいており、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業評価時に、事業の効率性及び透明性を評価し、第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて地方整備局等へ適切に配分している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行している。
事 業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係機関や地元との調整に時間を要した事などによる。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業再評価でコスト削減の取組について第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。
関 連 事 業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業再評価でコスト削減の取組について第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業進捗に伴う開通時期の見直しにより、当初見込みより活動実績は減少したものの、活動実績は着実に向上。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設は、事業の目的にあった機能を発揮している。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	令和元年度は新規採択時評価(17件)、再評価(110件)及び事後評価(23件)の事業評価を実施し、第三者委員会等の意見を聴取し、事業に反映させることで、公共事業の効率性及び有効性の向上を図っている。	
	改善の方向性	引き続き、事業評価において、コスト削減など事業内容の見直し等の検討を行うとともに、地域が進めるプロジェクト等と連携のとれた道路整備を計画的に進め、より大きなストック効果を早期に発現させるよう努める。	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

一部
の
改善
事業
内容

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行
等
改善

備考

- ・社会資本整備事業特別会計の廃止による予算計上の変更に伴い、平成26年度以降の予算については、北海道、沖縄の事業を含まない。
- ・支出先10者リストの中には、平成26年度～平成30年度に入札等を行ったものが含まれる。
- ・道路事業(直轄・改築等)は、道路法第12条国道の新設・改築のうち、直轄事業を1事業単位として、レビューシートを作成している。
- ・個別事業については、事業の効率性及び透明性を評価する事業評価を実施しているところ。
- ・レビューシートの作成にあたっては、事業概要をより詳しく記載するなど、国民へのわかりやすさに配慮。

関連する過去のレビューシートの事業番号

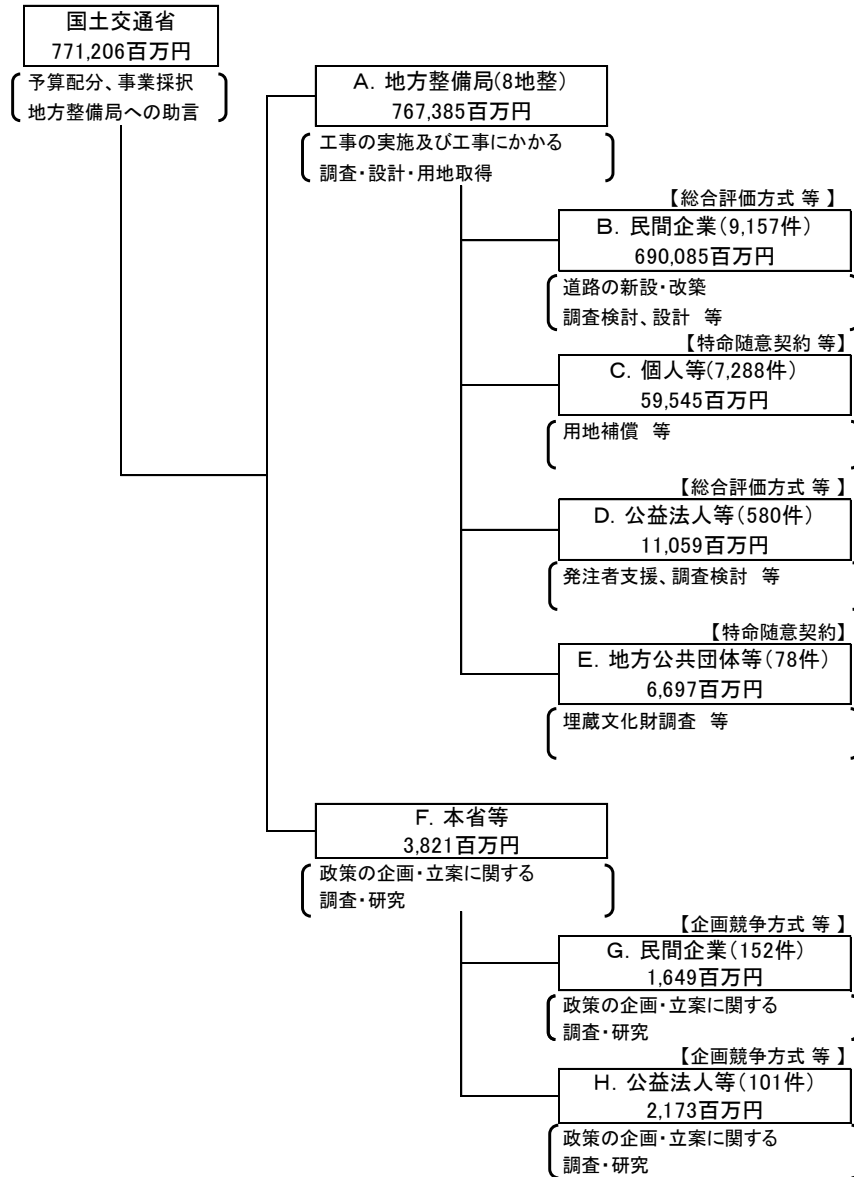
平成22年度	218	平成23年度	198	平成24年度	212	平成25年度	174
平成26年度	030-1	平成27年度	29	平成28年度	38	平成29年度	0037
平成30年度	国土交通省 (0038)						
平成31年度	国土交通省 (0035)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※電気代等の諸雑費は含んでいない。

<金額は契約額ベース>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 関東地方整備局			B. 横浜湘南道路トンネル工事 西松・戸田・奥村特定建設 工事共同企業体		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直轄事業費	工事の実施及び工事にかかる調査・設計・ 用地取得	195,031	工事費	トンネル工事	21,818
計		195,031	計		21,818
C. 個人(イ)			D. (公財) 東京都スポーツ文化事業団理事長		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
用地費及補償 費	用地補償	1,683	工事費	埋蔵文化財調査	782
計		1,683	計		782
E. 日野市長			F. 国土技術政策総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
用地費及補償 費	公共施設管理者負担金	298	直轄事業費	調査検討業務	3,821
計		298	計		3,821
G. (株) 長大 つくば支店			H. (一財) 計量計画研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
道路調査費	調査検討業務	192	道路調査費	調査検討業務	238
計		192	計		238

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	195,031		-	-	
2	中部地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	122,746		-	-	
3	近畿地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	107,462		-	-	
4	九州地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	87,064		-	-	
5	中国地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	81,318		-	-	
6	東北地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	63,587		-	-	
7	四国地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	60,158		-	-	
8	北陸地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	50,020		-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	横浜湘南道路トンネル工事 西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	21,818	国庫債務負担行為等	-	-	
2	中日本高速道路(株)東京支社	4180001056169	工事の委託	9,286	随意契約(その他)	-	-	委託契約
3	東日本旅客鉄道(株)	9011001029597	工事の委託	8,980	随意契約(その他)	-	-	委託契約
4	西武建設(株)横浜支店	3013301006249	改良工事	5,416	一般競争契約(総合評価)	9	92.6%	-
5	(株)フジタ 東京支店	8011001039242	トンネル工事	4,060	一般競争契約(総合評価)	12	90.3%	-
6	東日本高速道路(株)関東支社	9010001095716	工事の委託	3,985	随意契約(その他)	-	-	委託契約
7	東京外環中央JCT北側ランプ改良工事 大林・大本特定建設工事共同企業体 代表者(株)大林	-	改良工事	3,697	一般競争契約(総合評価)	4	90.9%	-
8	戸田建設(株)首都圏土木支店	6010001034874	改良工事	2,823	一般競争契約(総合評価)	9	90%	-
9	JFEエンジニアリング(株)橋梁事業部営業部	8010001008843	橋梁上部工事	2,395	一般競争契約(総合評価)	11	90.6%	-
10	日本ファブテック(株)橋梁事業本部	8010401020704	橋梁上部工事	2,230	一般競争契約(総合評価)	12	90.1%	-

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に関わるものを代表的に記載

※B～Iについては、複数契約がある場合は、入札者数、落札率、業務概要は、最も契約額が大きいものを代表的に記載

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人(イ)	-		1,683	国庫債務負担 行為等	-	-	
2	個人(ロ)	-		1,087	国庫債務負担 行為等	-	-	
3	個人(ハ)	-		566	随意契約 (その他)	-	-	
4	個人(ニ)	-		550	随意契約 (その他)	-	-	
5	個人(ホ)	-		374	随意契約 (その他)	-	-	
6	個人(ヘ)	-		309	随意契約 (その他)	-	-	
7	個人(ト)	-		301	随意契約 (その他)	-	-	
8	個人(チ)	-		261	随意契約 (その他)	-	-	
9	個人(リ)	-		250	随意契約 (その他)	-	-	
10	個人(ヌ)	-		232	随意契約 (その他)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公財)東京都スポー ツ文化事業団	5011005003759	埋蔵文化財調査	782	随意契約 (その他)	-	-	
2	(公財)かながわ考 古学財団	5020005009658	埋蔵文化財調査	448	随意契約 (その他)	-	-	
3	(公財)茨城県教育 財団	9050005010659	埋蔵文化財調査	209	随意契約 (その他)	-	-	
4	(一財)公共用地補 償機構	3010005018876	調査検討業務	205	随意契約 (企画競争)	1	99.4%	-
5	(一財)長野県文化 振興事業団	5100005000195	埋蔵文化財調査	168	随意契約 (その他)	-	-	
6	(一財)経済調査会	1010005002667	市場調査	126	一般競争契約 (総合評価)	2	87.9%	-
7	(一社)関東地域づく り協会	6030005002470	発注者支援業務	120	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
8	牛久土浦パイパス事 業監理業務31K2 関東地域づくり協会・ 近代設計設計共同 体	-	発注者支援業務	114	随意契約 (企画競争)	1	99%	-
9	(公財)群馬県埋蔵 文化財調査事業団	9070005008305	埋蔵文化財調査	109	随意契約 (その他)	-	-	
10	(一財)建設物価調 査会	9070005008305	市場調査	79	一般競争契約 (総合評価)	3	99.9%	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日野市	1000020132128	公共施設管理者負担金	298	随意契約 (その他)	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国土技術政策総合 研究所	-	政策の企画・立案に関する 調査・研究	1,946		-	-	
2	本省	-	政策の企画・立案に関する 調査・研究	1,876		-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)長大 つくば支 店	5010001050435	調査検討業務	192	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
2	(株)公共計画研究 所	3011001007682	調査検討業務	161	随意契約 (企画競争)	2	100%	-
3	中央復建コンサルタ ンツ(株)東京本社	3120001056860	調査検討業務	111	随意契約 (企画競争)	3	99.7%	-
4	パシフィックコンサル タンツ(株)茨城事務 所	8013401001509	調査検討業務	102	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
5	(株)建設技術研究 所 東京本社	7010001042703	調査検討業務	99	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
6	(株)オリエンタルコン サルタンツ 茨城事 務所	4011001005165	調査検討業務	85	随意契約 (企画競争)	3	98.8%	-
7	(株)三菱総合研究 所	6010001030403	調査検討業務	68	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
8	(株)博報堂	8010401024011	調査検討業務	49	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
9	一般社団法人 シス テム科学研究所	1130005012828	調査検討業務	45	随意契約 (企画競争)	2	99.3%	-
10	アジア航測(株)首都 圏営業部	6011101000700	調査検討業務	43	随意契約 (企画競争)	4	99.9%	-

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)計量計画研 究所	5011105004806	調査検討業務	238	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
2	(一財)国土技術研 究センター	4010405000185	調査検討業務	196	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
3	国立大学法人東京 大学	5010005007398	調査検討業務	195	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
4	国立大学法人広島 大学	1240005004054	調査検討業務	85	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
5	2020年度道路交通 センサス(OD調査) に向けたプレ調査実 施に関する検討業務 計量計画研究所・ サーベイリサーチセ ンター共同提案体	-	調査検討業務	69	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
6	平成31年度「道の 駅」機能向上方策検 討等業務日本みち研 究所・オリエンタル コンサルタンツ共同 提案体	-	調査検討業務	60	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
7	国立大学法人長岡 技術科学大学	7110005012080	調査検討業務	56	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
8	(一財)日本みち研 究所	8010605002135	調査検討業務	51	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
9	国立大学法人東北 大学	7370005002147	調査検討業務	50	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
10	令和元年度 道路メ ンテナンス年報等の 作成に向けたデータ 整理・検討業務 日 本みち研究所・JBE C共同提案体	-	調査検討業務	50	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額(百万円)	契約方式	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(契約額10億円以上)
1	横浜湘南道路トンネル工事 西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	21,818	随意契約(その他)	1	100%	本工事の施工にあたっては、前工事で使用したシールドトンネルの掘削に使用する仮設物であるシールドマシン、土砂搬送装置、坑内設備、換気設備、電気・給排水施設等、施工に必要な仮設備を使用する。また、シールドマシンは、個別の工事毎に製作し、現場の地盤の状態、湧水、温湿度等の使用条件に応じて、トンネル工事の施工者が操作する。この際、使用条件に応じたカッタの回転数、地盤等へ押しつける圧力等を適切に設定するためには、トンネルの施工者がシールドマシンの製作にあたって設定した、掘削に係る条件を理解する必要があるが、この条件は施工者固有のものであることから、前工事の施工者以外は知り得ない。したがって、掘削に係る条件を適切に設定し、シールドマシンが所定の計画線をずれることなく、かつ、地山の崩落を起こすことなく構造物として安全なトンネルを、施工の安全性を確保しながら施工することができるのは、前工事の施工者に限られる。
2	西武建設(株)横浜支店	3013301006249	改良工事	5,174	一般競争契約(総合評価)	9	92.6%	-
3	(株)フジタ 東京支店	8011001039242	トンネル工事	4,060	一般競争契約(総合評価)	12	90.3%	-
4	東京外環中央JCT北側ランプ改良工事 大林・大本特定建設工事共同企業体 代表者(株)大林	-	改良工事	3,697	一般競争契約(総合評価)	4	90.9%	-
5	戸田建設(株)首都圏土木支店	6010001034874	改良工事	2,823	一般競争契約(総合評価)	9	90%	-
6	JFEエンジニアリング(株)橋梁事業部営業部	8010001008843	橋梁上部工事	2,395	一般競争契約(総合評価)	11	90.6%	-
7	日本ファブテック(株)橋梁事業本部	8010401020704	橋梁上部工事	2,230	一般競争契約(総合評価)	12	90.1%	-

8	(株)銭高組 東京支社	5120001049004	トンネル工事	2.147	随意契約 (その他)	1	100%	トンネル工事においては、地山の変位・土圧・湧水等を計測し、この計測値を基にトンネル周辺地山にかかる力の状態を数値解析して得た不安定な地山の範囲と、掘削時に直接目視して得た岩盤の断層、風化等の詳細な状態をもとに、地山とトンネルの一体化を図るためロックボルトの長さ・配置・角度、吹付コンクリート厚等を、施工者固有の一貫した判断に基づき施工することが、トンネルの健全性及び施工の安全性を確保する上で不可欠である。前工事実施箇所での岩盤の詳細な状態は前工事の施工者以外では知り得ず、従ってロックボルト、吹付コンクリート等の施工内容の判断の詳細も知り得ない。また、上記、数値解析結果の施工法への反映の仕方についても施工者固有のものであるため、一貫した判断に基づき、安全なトンネルを施工することができるのは前工事の施工者に限られる。
9	(株)ノバック 東京本店	4140001058111	橋梁下部工事	2.061	一般競争契約 (総合評価)	9	90.3%	-
10	(株)安藤・間 関東土木支店	2010401051696	改良工事	1.952	一般競争契約 (総合評価)	11	90%	-

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	道路事業 (補助等)			担当部局庁	道路局、都市局		作成責任者		
事業開始年度	昭和27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	環境安全・防災課 街路交通施設課 等		課長 荒瀬 美和 課長 中村 健一 等		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路法第50条 道路法第56条 等			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・道路の交通の安全の確保とその円滑化、生活環境の改善を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・補助国道 (一般国道のうち、政令で指定する区間以外)、都道府県道及び市町村道の新設・改築、修繕等について、地方公共団体に補助を行う。 ・具体的には地域高規格道路、重要物流道路の整備、インターチェンジや空港・港湾等へのアクセス道路整備等により、幹線道路ネットワークの整備を推進するとともに、橋梁等の大規模修繕・更新を行うことで国民の命と暮らしを守るネットワークの代替性の確保や地域・拠点の連携強化及び我が国の成長力を高める物流ネットワークの整備を行う。 ・補助率 1/2 等								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	70,595	80,667	178,078	411,585			
		補正予算	10,300	-	11,689	-			
		前年度から繰越し	36,736	35,136	28,870	86,054			
		翌年度へ繰越し	▲ 35,136	▲ 28,870	▲ 86,054	-			
		予備費等	12,278	-	-	-			
		計	94,773	86,933	132,583	497,639	0		
	執行額		94,596	86,877	132,246				
	執行率 (%)		100%	100%	100%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		117%	108%	70%				
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	道路環境改善事業費	28,973							
	道路交通安全対策事業費	264,997							
	地域連携道路事業費	108,488							
	道路交通円滑化事業費	9,127							
	その他	0	0						
	計	411,585	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	令和2年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする。 (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度 (都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの) 60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保 (平成30年度、令和元年度の成果実績については集計中)	成果実績	km	54	-	-	-	-
			目標値	km	-	-	-	-	55
			達成度	%	98	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ (令和2年4月)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム) 欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
	地域高規格道路等(補助事業)の新規開通延長		km	44	29	15	-	-	
		km	60	31	24	29	7		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	単位当たりコスト	計算式							
			/						
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
	施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合) (平成30年度、令和元年度の成果実績については集計中)						-	2
		実績値	km	54	-	-	-	-	
	目標値	km	-	-	-	-	55		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>・補助国道(一般国道のうち、政令で指定する区間以外)、都道府県道及び市町村道の新設・改築、修繕等について、地方公共団体に補助を行う。</p> <p>・具体的には地域高規格道路、重要物流道路の整備、インターチェンジや空港・港湾等へのアクセス道路整備により、幹線道路ネットワークの整備を推進するとともに、橋梁等の大規模修繕・更新を行うことで国民の命と暮らしを守るネットワークの代替性の確保や地域・拠点の連携強化及び我が国の成長力を高める物流ネットワークの整備を行う。</p> <p>・活動実績として、令和元年度の新規開通延長は15kmとなっており、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与。</p>								
	取組事項	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度
		-	年度		年度	-	年度		
成果実績		-	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度	
				-	年度	年度	-	年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	道路の交通安全の確保とその円滑化、生活環境の改善に寄与。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	道路の交通安全の確保とその円滑化、生活環境の改善のため、地方自治体等の事業に対して、国が補助することが必須道路の交通安全の確保とその円滑化、生活環境の改善のため、優先度の高い事業。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	負担関係は法令に基づいており、妥当。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事 業 の 有 効 性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係機関や地元との調整に時間を要した事などによる。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	個別の新設・改築事業の実施に当たり、地方公共団体は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、事業の効率性や透明性等を評価。
関 連 事 業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	工事遅延による開通年度の遅れが一部生じているが、活動実績は着実に向上。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された地域高規格道路等は、事業の目的に合った機能を発揮。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果		・平成22年度には国土交通省において地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が生かせる総合的な交付金として社会資本整備総合交付金を創設したところである。 ・道路事業についても、社会資本整備総合交付金に統合することにより、地方公共団体にとっての予算の使い勝手の向上(予算執行の効率化)を図ったところであり、地方の事業に対して国が施策支援を行う必要性を踏まえ、補助事業として真に支援が必要である大規模事業の地域高規格道路等に重点化して、補助事業を実施している。
	改善の方向性		事業推進に当たり、技術面での確認等を行い、効果的・効率的な事業の実施を図る。
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
<p>・社会資本整備事業特別会計の廃止による予算計上の変更に伴い、平成26年度以降の予算については、北海道、沖縄の事業を含まない。</p> <p>・道路事業(補助等)の個別事業については、事業毎に、事業の効率性及び透明性を評価し、第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表している。詳細については、下記URLを参照されたい。</p> <p>「個別道路事業の評価」:http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/ir-hyouka.html</p> <p>また、レビューシートの作成にあたっては、事業概要をより詳しく記載するなど、国民へのわかりやすさに配慮。</p>			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	220	平成23年度	200	平成24年度	214	平成25年度	178
平成26年度	172	平成27年度	0176-01	平成28年度	0189	平成29年度	0183
平成30年度	181						
平成31年度	国土交通省 (0175)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※交付決定ベースにて作成

国土交通省
189,521 百万円

補助国道、都府県道及び市町村道の
新設・改築、修繕等について、地方公共
団体に補助を行う。

【補助金等交付】

A.地方公共団体(236 団体)
189,521 百万円

工事及び工事に係る調査・設計・用地取得等を
実施する地方公共団体に対する補助を実施

<長崎県の例>

工事費及び工事に係る調査・設計・用地取得費等

本工事費	9,166 百万円
測量設計費	811 百万円
用地費及補償費	570 百万円
委託費	2百万円
後進地域特例法適用団体補助率差額	611百万円
合計	11,160百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 〔「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載〕	A.長崎県			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	本工事費	工事の実施	9,166				
	測量設計費	調査検討業務	811				
	用地費及補償費	用地補償	570				
	委託費	調査検討業務	2				
	後進地域特例法適用団体補	補助率差額	611				
	計		11,160	計		0	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	長崎県	4000020420000	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	11,160	補助金等交付			
2	東京都	8000020130001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	10,602	補助金等交付			
3	横浜市	3000020141003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	10,153	補助金等交付			
4	大阪市	6000020271004	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	9,013	補助金等交付			
5	愛知県	1000020230006	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	7,121	補助金等交付			
6	兵庫県	8000020280003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	6,850	補助金等交付			
7	群馬県	7000020100005	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	6,787	補助金等交付			
8	大阪府	4000020270008	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	6,536	補助金等交付			
9	鹿児島県	8000020460001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	6,132	補助金等交付			
10	佐賀県	1000020410004	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	5,840	補助金等交付			

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		熊本県	7000020430005	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	330				
2		和歌山市	6000020302015	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	261				
3		金沢市	4000020172014	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	259				
4		千葉県	4000020120006	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	237				
5		鳥取県	7000020310000	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	237				
6		三重県	5000020240001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	220				
7		佐賀県	1000020410004	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	220				
8		愛知県	1000020230006	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	210				
9		福岡県	6000020400009	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	182				
10		南越前町	8000020184047	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	122				

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	有料道路事業等			担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始年度	昭和43年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高速道路課 等		課長 長谷川 朋弘 等		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法第6条第3項、第12条第1項第4号、道路整備特別措置法第20条 等			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	公共事業				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高速道路会社による高速道路の新設・改築の効率的な実施及び地方道路公社による地方的な幹線道路の整備を促進し、道路交通の円滑化を図ること等を目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路(株)及び阪神高速道路(株)が行う新設・改築に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する出資 ・東日本高速道路(株)等が施行するスマートインターチェンジ整備事業に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する補助 ・地方道路公社が施行する有料道路事業に要する資金の一部貸付け 等 								
実施方法	補助、貸付、その他								
予算額・執行額(単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算の状況	当初予算	20,708	14,119	17,470	12,720			
		補正予算	-	14,800	-	-			
		前年度から繰越し	31,877	3,423	14,696	2,019			
		翌年度へ繰越し	▲ 3,423	▲ 14,696	▲ 2,019	-			
		予備費等	▲ 300	-	-	-			
	計		48,862	17,646	30,147	14,739	0		
	執行額		48,804	17,646	29,610				
	執行率 (%)		100%	100%	98%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		236%	61%	169%				
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	地域連携道路事業費	5,964							
	道路交通円滑化事業費	6,631							
	道路交通安全対策事業費	125							
	その他	0	0						
	計	12,720	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
	令和2年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする。 (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保率(平成30年度以降の実績については集計中)	成果実績	%	54	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	55
			達成度	%	98	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国土交通省道路局調べ(令和2年4月)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/>		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
高速道路会社6社及び指定都市高速道路公社の開通延長	活動実績	km		58	98	58	-	-	
	当初見込み	km		76	122	50	26	29	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
	活動実績								
	当初見込み								
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	単位当たりコスト	計算式							
		/							
政策評価 政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
	施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したも の)60km/hが確保されている割合) (平成30年度以降の成果実績については集計中)	実績値	%	54	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	55
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路(株)及び阪神高速道路(株)が行う新設・改築に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する出資 ・東日本高速道路(株)等が施行するスマートインターチェンジ整備事業に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する補助 ・地方道路公社が施行する有料道路事業に要する資金の一部貸付け 等 								
	取組事項	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	元年度	2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		成果実績							
目標値									
達成度		%							
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	元年度	2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	成果実績								
	目標値								
	達成度	%							
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									

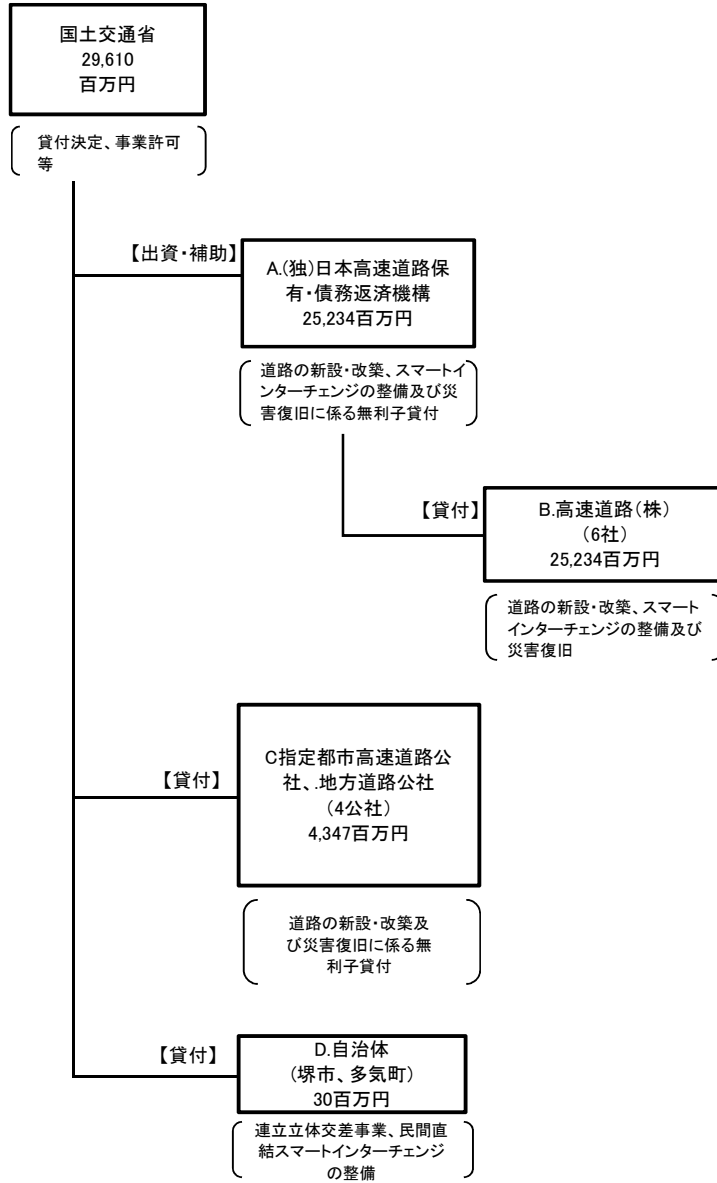
事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与する事業であり、国による支援は必要。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与する事業であり、必要性及び優先度は高い。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	高速道路保有・債務返済機構法、道路整備特別措置法に基づき適切に支出。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	高速道路保有・債務返済機構法、道路整備特別措置法に基づく支出であり、負担関係は妥当。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、事業の効率性や透明性等を評価。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて、高速道路保有・債務返済機構に適切に配分。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	道路の新設、スマートIC等の工事実施にあたり、地元自治体や関係機関との調整等により時間を要し、工事工程を見直したため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、コスト削減の取組等についても評価。		
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、事業の効率性や透明性等を評価。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業進捗に伴う開通時期の見直しにより、当初見込みより活動実績は増加し、着実に向上。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された高速道路は、事業の目的に合った機能を発揮。	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	有料道路事業による高速道路整備は着実に進んでいる。		
	改善の方向性	高速道路の整備にあたっては、建設コストの縮減を含め、効果的・効率性な実施に一層努める。		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	221	平成23年度	201	平成24年度	215	平成25年度	255
平成26年度	030-3	平成27年度	0176-2	平成28年度	206	平成29年度	0184
平成30年度	0182						
平成31年度	国土交通省 (0176)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(独)日本高速道路保有・債務返済機構			B.西日本高速道路(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	出資金・補助金	道路の新設・改築、スマートインターチェンジの整備、災害復旧に係る無利子貸付	25,234	補助金	スマートインターチェンジの整備、災害復旧	11,761
	計		25,234	計		11,761
		C.広島高速道路公社			D.堺市	
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	貸付金	道路の新設・改築	2,363	貸付金	連立立体交差事業	25
	計		2,363	計		25
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

